



PARAMOUNT BED

## 取扱説明書

7F09187000A3

## NN-2000 スマートハンドル 保証書付

## まえがき

このたびは、スマートハンドル（以下、ハンドル）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」にはハンドルを安全にお使いいただくための注意事項と取付方法などを記載しています。

- ハンドルをご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」およびベッド本体の「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- 「取扱説明書」はハンドルと一緒に専用保管袋に入れ、停電時やベッドの故障などの緊急時に、すぐに取り出せる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

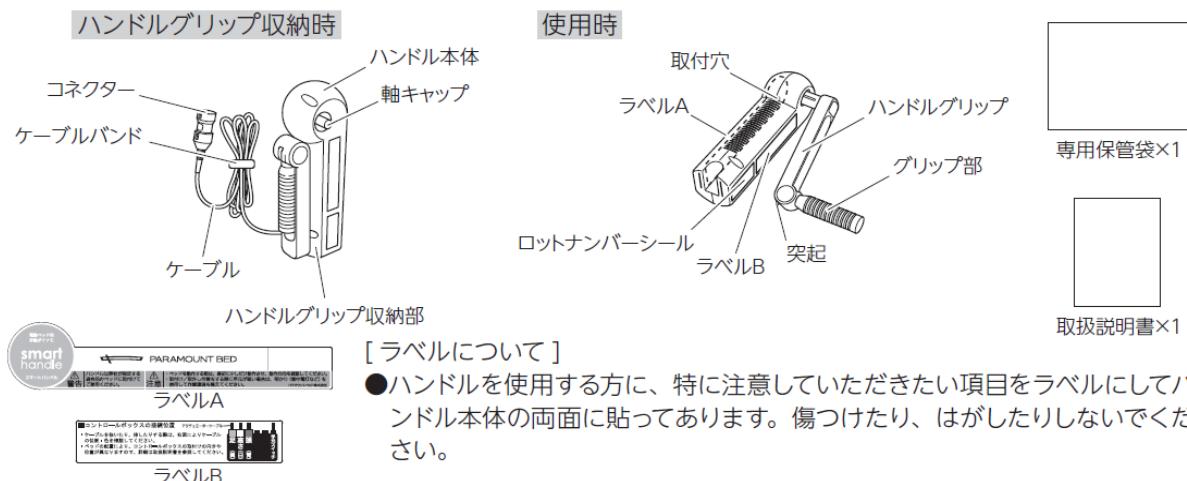
## 使用目的

■このハンドルは、災害などによる停電時・ベッドの故障（※1）などの緊急時やコンセントのない場所で、弊社電動ベッドの背ボトム・膝ボトムのあげ・さげ、高さのさげ操作を行うことを目的に作られています（※2）。

※1) 故障内容によっては、ハンドルによる操作ができない場合があります。

※2) 上記以外の目的で使用しないでください。

## 各部の名称と部品の確認



## 適合品

適合するベッドは以下の通りです。

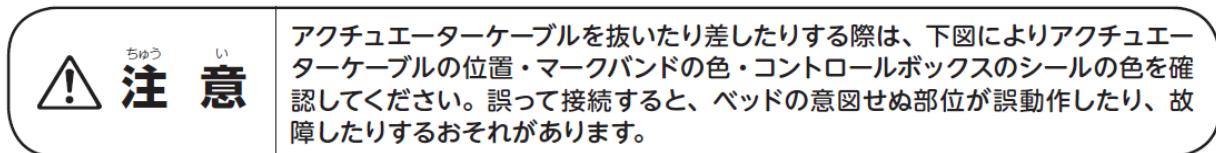
- ・ 楽匠Sシリーズ (KQ-9\*\*\*\*)
- ・ 楽匠シリーズ (KQ-8\*\*\*\*)
- ・ 楽匠Zシリーズ (KQ-7\*\*\*\*)
- ・ KQ-60000シリーズ (KQ-6\*\*\*\*)
- ・ KRシリーズ (KR-8\*\*\*\*1\*)
- ・ KR+プラスシリーズ (KR-8\*\*\*\*3\*)
- ・ 介護用ベッド (KQ-51300 2010年5月以降製造分)

※上記以外の製品については、直接弊社までお問い合わせください。

パラマウントベッド株式会社

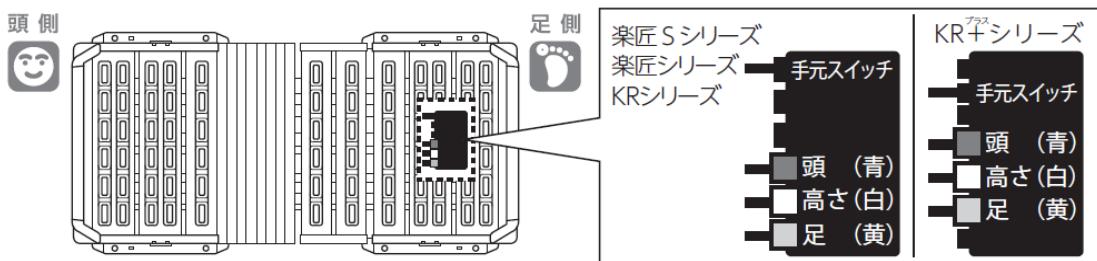
## コントロールボックスおよびアクチュエーターの接続位置

ベッドのコントロールボックスは下図の位置に搭載されています。ベッドの機種により、コントロールボックスの取付けの向きや位置、アクチュエーターケーブルの接続位置が異なります。



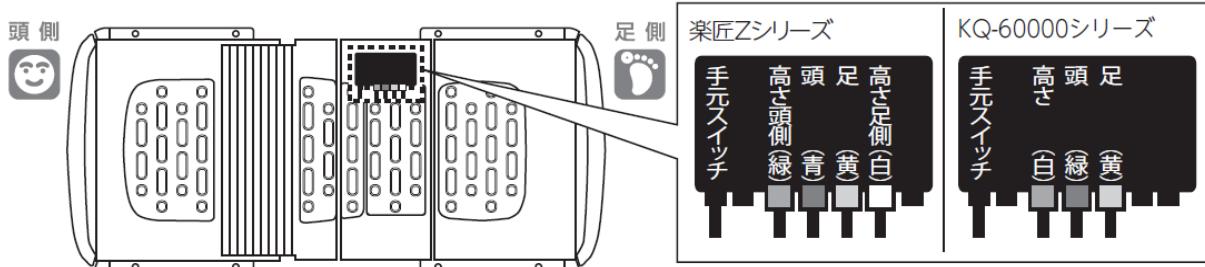
**注記!** ベッドはハンドルが接続しやすい位置に配置してください。ベッドの位置によりハンドルの接続が困難となり、使用できない場合があります。

### ■ 楽匠 S シリーズ・楽匠シリーズ・KR シリーズ・KR+シリーズの場合



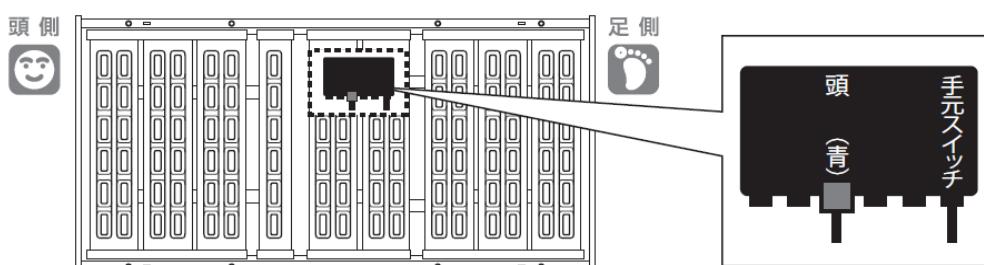
\*ベッドのイラストは楽匠 S シリーズ 3モーター仕様 (2モーター:「足」なし、1モーター:「高さ・足」なし)

### ■ 楽匠 Z シリーズ・KQ-60000 シリーズの場合



\*ベッドのイラストは楽匠 Z シリーズ **背・ひざ・高** タイプ (**背・高** タイプ: 「足」なし、**青** タイプ: 「高さ(頭側)・高さ(足側)・足」なし)

### ■ 介護用ベッド (KQ-51300) の場合



- アクチュエーターケーブルのマークバンドの色とコントロールボックスの色はベッドによって異なります。右表を参照してください。
- マークバンドやシールの位置は、本取扱説明書の「ハンドルの取付けかた」をご覧ください。(5・6 ページ参照)

	頭	高さ		足
		頭側	足側	
樂匠Zシリーズ	青	緑	白	
KQ-60000 シリーズ	緑			黄
その他	青		白	

# ハンドルの取付けかた



ハンドル操作で、背ボトム・膝ボトムのあげ・さげと高さのさげが操作できます。高さのあげは操作できません。

## !ちゅう い 注意

- 手元が暗い場合は、明かり(懐中電灯など)を使用して作業環境を整えてください。アクチュエーターケーブルとハンドルのコネクターを誤って接続すると、意図せぬベッドの動作によりけがをしたり、ハンドルが破損したりするおそれがあります。
- アクチュエーターケーブルを取り外す際は、1度に複数を取り外さないでください。ハンドルやコントロールボックスと誤って接続すると、ベッドの意図せぬ部位が動作したり、故障したりするおそれがあります。
- ハンドルの操作部位を変更する際は、操作している部位のアクチュエーターケーブルをコントロールボックスに接続したあと、操作したい部位のアクチュエーターケーブルを取り外してください。コントロールボックスの誤った部位に接続すると、ベッドの意図せぬ部位が動作したり、故障したりするおそれがあります。

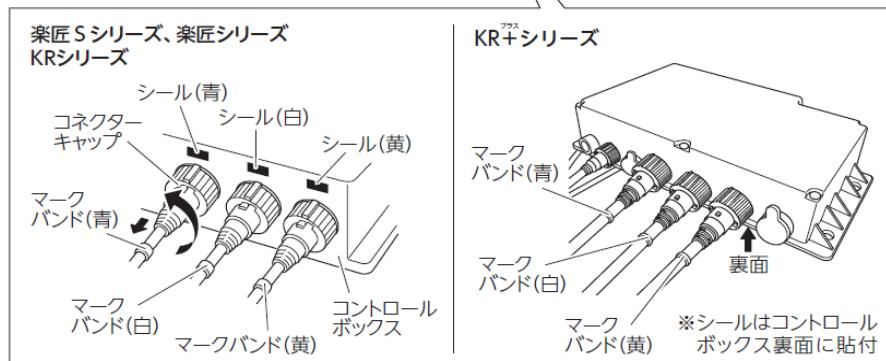
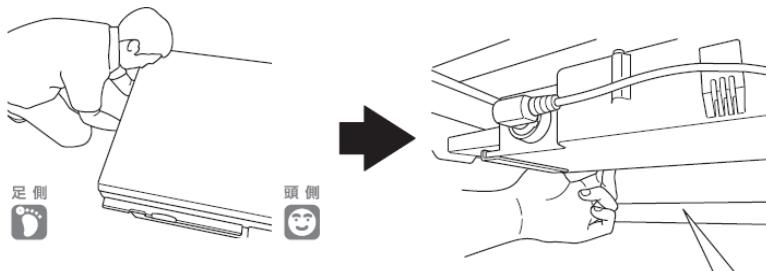
## 1. アクチュエーターケーブルの取り外し

- ①ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②アクチュエーターケーブルのコネクターに手が届く位置から手を入れ、操作したい部位のアクチュエーターケーブルのコネクターキャップを反時計回りに回して、コントロールボックスの差込部からコネクターを引き抜いてください。



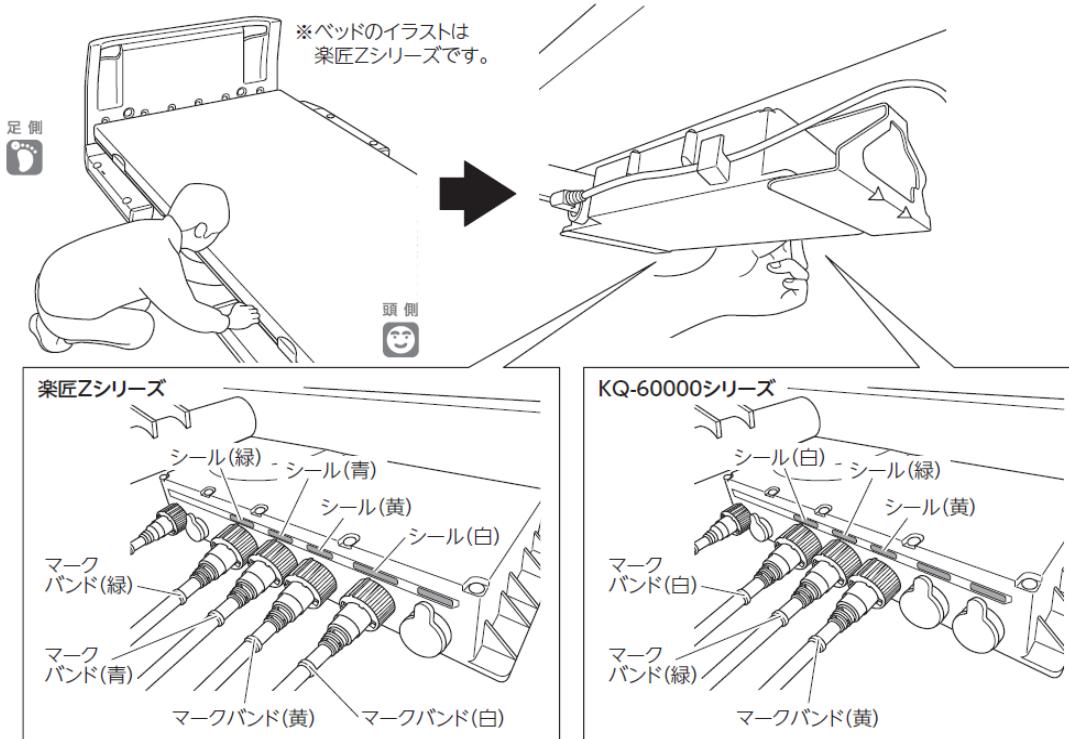
- 作業がしづらい場合は、ベッドのフットボードやベッドサイドレールを取り外したり、ベッドのボトムをあげたりして作業してください。
- アクチュエーターの配線については、本取扱説明書の2ページに記載されている「コントロールボックスおよびアクチュエーターの接続位置」を参照してください。

<楽匠 S シリーズ・楽匠シリーズ・KR シリーズ・KR+シリーズの場合>



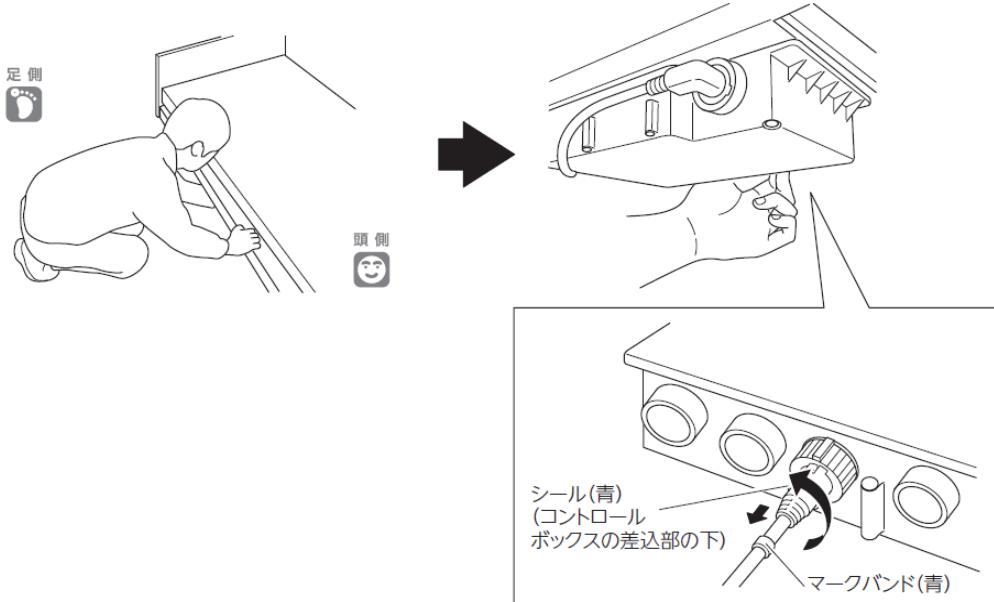
## ハンドルの取付けかた

<楽匠Zシリーズ・KQ-60000 シリーズの場合>



識別プラグは取外さないでください (楽匠Zシリーズ 背・高タイプのみ)

<介護用ベッド (KQ-51300) の場合>



# ハンドルの取付けかた

## 2. ハンドルとアクチュエーターケーブルの接続

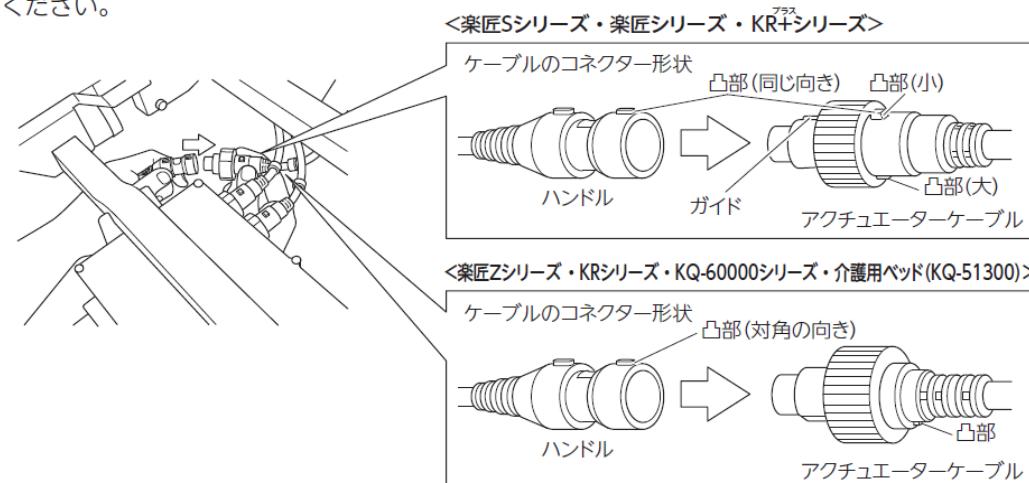
- ①ハンドルのケーブルバンドを外してください。
- ②コントロールボックスから引き抜いたアクチュエーターケーブルのコネクターにハンドルのコネクターをガイドに沿って差込んでください。

### < 楽匠 S シリーズ・楽匠シリーズ・KR<sup>プラス</sup>シリーズの場合 >

アクチュエーターケーブルのコネクターの凸部（小）とハンドルのコネクターの凸部が、同じ向きになるように合わせてください。

### < 楽匠 Z シリーズ・KR シリーズ・KQ-60000 シリーズ・介護用ベッド (KQ-51300) の場合 >

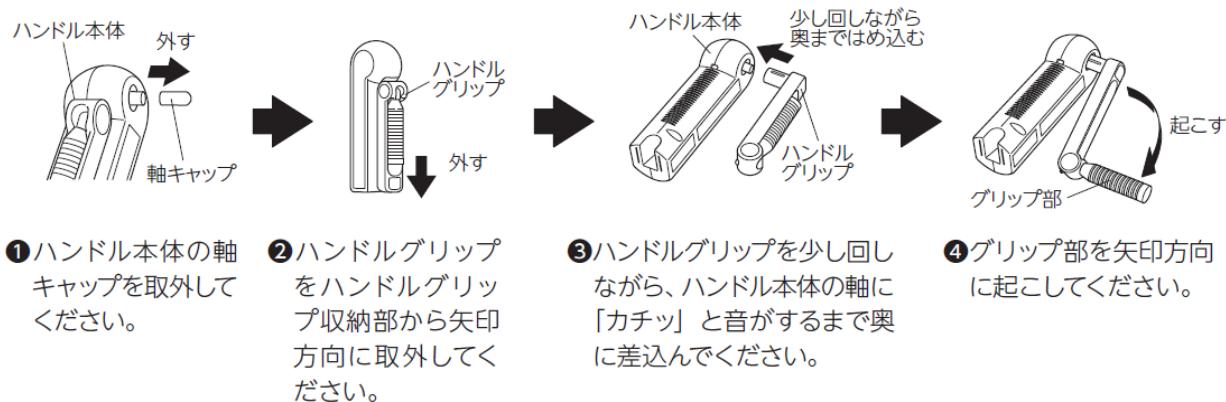
アクチュエーターケーブルのコネクターの凸部とハンドルのコネクターの凸部が、対角の向きになるように合わせてください。



## 3. ハンドルグリップの組立てかた

### !**注 意**

ハンドルグリップを組立てるときは、ハンドル本体とハンドルグリップの間に手や指をはさまないように注意してください。はさまれてけがをするおそれがあります。

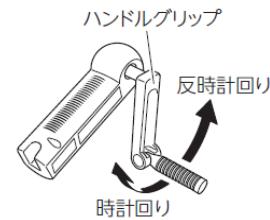


取外した軸キャップは紛失しないように保管してください。

# 使いかた

## <ベッドの動作方向とハンドルグリップの回転方向>

機種 動作方向 <sup>(※1)</sup>	・楽匠Sシリーズ ・楽匠シリーズ ・楽匠Zシリーズ(足) ・KQ-60000シリーズ(足)	・KRシリーズ <sup>プラス</sup> ・KR+シリーズ ・介護用ベッド(KQ-51300) ・楽匠Zシリーズ (頭・高さ(頭側)・高さ(足側)) ・KQ-60000シリーズ(頭・高さ)
あげ (頭・足) <sup>(※2)</sup>	時計回り <sup>(※3)</sup>	反時計回り
さげ (頭・足・高さ)	反時計回り	時計回り



※1) 2モーターは「足」なし。1モーターは「高さ・足」なし。

樂匠Zシリーズは【背・高】タイプは「足」なし。【背】タイプは「高さ(頭側)・高さ(足側)・足」なし。

※2) 高さのあげは操作できません。

※3) ハンドルグリップ側から見た回転方向。



- ハンドルグリップを回転させる速度が遅いと、ベッドが動作しない場合があります。回転速度の目安は、1秒間に2回転(※4)です。  
※4) ベッドの動き出しは最も電力を消費するため、1秒間に2回転の回転速度ではベッドが動かない場合があります。ベッドが動かない場合は、動き出しのみ回転速度を速くしてください。
- ベッド動作には空走(※5)があり、ハンドルグリップを回してもすぐにベッドが動作しない場合があります。  
※5) ベッドは動作せず、アクチュエーターのみが動いている状態です。しばらくハンドルグリップを回し続けてください。
- あげ動作をする場合、使用者体重は80kg(マットレスやオプションなどの付帯物を含まず)以下を目安としてください。80kgを超えるとハンドルグリップが重くなり、操作が困難となります。

# ハンドルの取外しかた

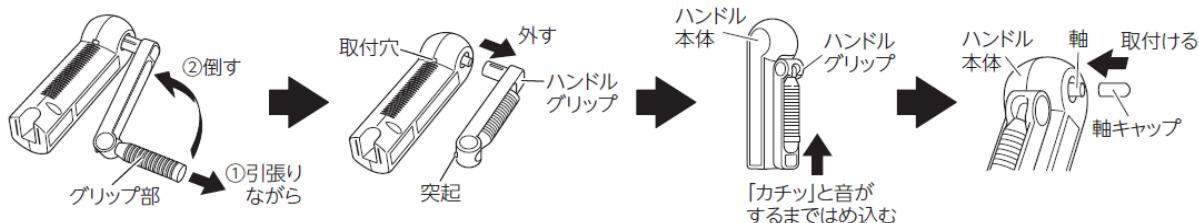


ベッドの電源プラグが抜けていることを確認してください。

## ⚠ 注意

- 手元が暗い場合は、明かり（懐中電灯など）を使用して作業環境を整えてください。アクチュエーターケーブルとコントロールボックスを誤って接続すると、ベッドが誤動作したり、故障したりするおそれがあります。
- ハンドルグリップは、正しく収納してください。正しく収納されていないとハンドルグリップが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。
- ハンドルグリップを収納するときは、ハンドル本体とハンドルグリップの間に手や指をはさまないように注意してください。はさまれてけがをするおそれがあります。

## 1. ハンドルグリップの収納



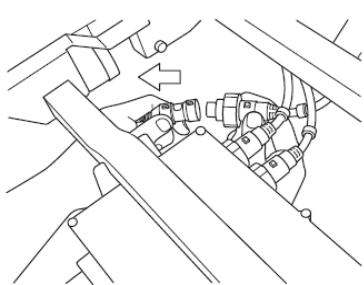
①グリップ部を矢印①の方向に引張りながら、矢印②の方向に倒してください。

②ハンドルグリップを矢印方向に取外してください。

③ハンドルグリップの突起とハンドルの取付穴が合うように、「カチッ」と音がするまで矢印方向にはめ込んでください。

④ハンドル本体の軸に軸キャップを取付けてください。

## 2. ハンドルの取外し



①アクチュエーターケーブルのコネクターからハンドルのコネクターを引き抜いてください。

②ハンドルのケーブルはケーブルバンドで束ねてください。

●ケーブルの束ねかたは、本取扱説明書の1ページに記載されている「各部の名称と部品の確認」の＜ハンドルグリップ収納時＞を参照してください。

●ハンドルの保管方法は、本取扱説明書の13ページに記載されている＜保管について＞を参照してください。

# ハンドルの取外しかた

## 3. アクチュエーターケーブルとコントロールボックスの接続

- ①アクチュエーターケーブルのコネクターをガイドに沿ってコントロールボックスに差込んでください。

< 楽匠 S シリーズ・楽匠シリーズ・KR<sup>プラス</sup>シリーズ・介護用ベッド (KQ-51300) の場合 >

アクチュエーターケーブルのコネクターの凸部 (小) を真上にしてコントロールボックスに差込んでください。

< 楽匠 Z シリーズ・KR シリーズ・KQ-60000 シリーズの場合 >

アクチュエーターケーブルのコネクターの凸部を真下にしてコントロールボックスに差込んでください。



- ②コネクターキャップを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。



- アクチュエーターの配線については、本取扱説明書の 2 ページに記載されている「コントロールボックスおよびアクチュエーターの接続位置」を参照してください。
- 各部位のさげ動作時に、ハンドルを回しすぎた状態でベッドの電源を入れ、ベッド操作を行うとエラー (H4 表示、または電源ランプが早い点滅) が発生することがあります。故障ではありません。その場合は、もう一度ハンドルをつなぎ、あげ方向にハンドルをしばらく (5 回転ほど) 回してください。



ちゅう  
注意  
い

アクチュエーターケーブルとコントロールボックスの接続後は、ケーブルが正しく配線されていることを確認してください。誤った配線をすると断線や破損のおそれがあります。

## 故障かな？と思ったら

■故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。

■チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにハンドルの使用を中止し、販売店またはパラテクノコールセンター（15ページ参照）まで修理をご依頼ください。

状態(症状)	チェック	処置	参照ページ
ハンドルグリップを回しても、ベッドが動作しない	ハンドルグリップの回転速度が遅くありませんか？	ハンドルグリップの回転速度を速くしてください（1秒間に2回転以上）。	9
	しばらくハンドルグリップを回し続けると動作しますか？	アクチュエーターには空走があり、しばらくハンドルグリップを回し続けるとベッドが動き出します。	9
	動作させたい部位が、ベッドの動作範囲外に達していませんか？	ハンドルグリップを逆方向に回転させ、ベッドの動作範囲内に戻して使用してください。	8・9
	ハンドルとアクチュエーターケーブルが正しく接続されていますか？	ハンドルとアクチュエーターケーブルを正しく接続してください。	5～7
ハンドル操作が重い	ベッド上の使用者体重が80kg以上ではありませんか？	背ボトム・膝ボトムのあげ動作は、使用者体重が80kgを超えるとハンドル操作が重くなり、困難となります。	9
操作したい部位と異なる部位が動作する	操作したい部位と異なる部位のアクチュエーターケーブルにハンドルを接続していませんか？	操作したい部位のアクチュエーターケーブルにハンドルを接続してください。	5～7
ハンドル使用後に電動動作を行うと膝ボトムが下までさがらない（楽匠Zシリーズのみ）	ベッドが傾斜状態になっていませんか？	ラクリアモーションでベッドを水平の状態に戻してください。	—

## 仕様

品名	スマートハンドル		
品番	NN-2000		
寸法(cm)	収納時 : 6 × 8 × 20 使用時 : 18 × 7 × 20		
ケーブル長さ	有効長さ 2m		
製品質量	1kg		
適合品	・楽匠Sシリーズ (KQ-9****) ・楽匠シリーズ (KQ-8*****) ・楽匠Zシリーズ (KQ-7****) ・KRシリーズ (KR-8****1*) • KR+シリーズ (KR-8****3*) • KQ-60000シリーズ (KQ-6*****) • 介護用ベッド (KQ-51300 2010年5月以降製造分)		
回転数※	楽匠Sシリーズ 【3モーター】	さげ 頭:3回転/度 足:1回転/度 高さ:8回転/cm	あげ 頭:5回転/度 足:3回転/度
	楽匠シリーズ 【3モーター】	さげ 頭:1回転/度 足:1回転/度 高さ:9回転/cm	あげ 頭:7回転/度 足:5回転/度
	楽匠Zシリーズ (KQ-7****) <b>背・ひざ・高</b> タイプ	さげ 頭:2回転/度 足:2回転/度 高さ(頭側):10回転/度 高さ(足側):10回転/度	あげ 頭:3回転/度 足:3回転/度
	KRシリーズ (KR-8****1*) 【3モーター】	さげ 頭:2回転/度 足:3回転/度 高さ:6回転/cm	あげ 頭:6回転/度 足:4回転/度
	KR+シリーズ (KR-8****3*) 【3モーター】	さげ 頭:2回転/度 足:2回転/度 高さ:7回転/cm	あげ 頭:4回転/度 足:2回転/度
	KQ-60000シリーズ (KQ-6*****) 【3モーター】	さげ 頭:2回転/度 足:2回転/度 高さ:7回転/cm	あげ 頭:3回転/度 足:2回転/度
	介護用ベッド (KQ-51300) 【1モーター】	さげ 頭:2回転/度	あげ 頭:7回転/度

※ 1秒間に2回転でフルストローク動作させた場合の平均(使用者体重60kgの場合)。

下記使用条件により、回転数が変化します。

- ・使用者体重
- ・ボトムの角度・ベッドの高さ
- ・背膝運動動作をする場合、しない場合
- ・マットレスやオプションなどの付帯物の荷重